

2024年1月10日

各 位

コーユーレンティア株式会社

## リユースパネルによる太陽光発電と蓄電システム 自社倉庫（太宰府市）で稼働開始 ～再エネと防災協定に基づき地域のBCPにも貢献～

コーユーレンティア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 梅木 孝治、以下「コーユーレンティア」）は、グループの連結子会社であるコーユーロジックス株式会社（以下「コーユーロジックス」）九州エリアセンター（福岡県太宰府市）に、リユースパネルを活用した「自家消費型太陽光発電と蓄電システム」を設置し、2023年12月28日より稼働を開始しました。

### 記

#### 1. 背景

当グループでは従来より ESG 経営を通じた地球環境や社会課題への対応が持続可能な社会に貢献すると捉えており、その観点から2020年には脱炭素に貢献するため「再エネ100宣言 RE Action」に参加、2030年までに事業活動における使用電力を100%再生可能エネルギーにすることを宣言しました。それに伴い、2020年7月には全国20拠点中5拠点を再エネ電力メニューへ移行しました。

また2022年には、コーユーロジックス関東エリアセンター（千葉県白井市）の屋根に、自社の太陽光リユースパネルを設置するなど再エネ率は62%に達しています。

今回更なる再エネを推進するとともに、地域のBCP対策及び支援を図るため、太陽光パネル・蓄電システムを設置し稼働開始しました。



九州エリアセンター



関東エリアセンター

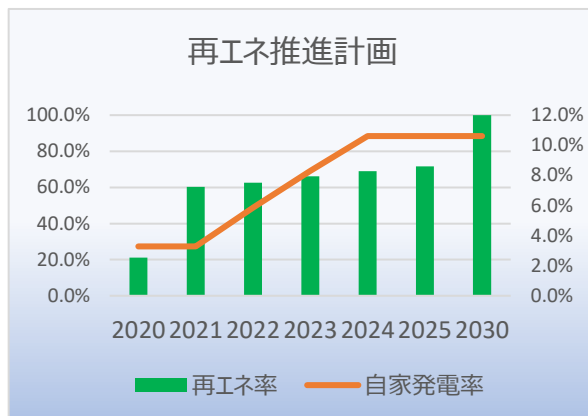


中部エリアセンター

## 2. 自家消費型太陽光発電と蓄電システムの概要

### (1) 目的と想定効果

- ① 電力料金の削減とサーキュラーエコノミー  
太陽光パネルは、直接的な電力料金のコスト削減となるとともに、社会全体の追加再エネ発電所となり脱炭素手法として高く評価されています。また通常であれば廃棄される太陽光モジュールをリユースパネルとして活用することで、サーキュラーエコノミーの一環として取り組みました。なお、今回の太陽光パネル設置により自家発電率も 8%を超えました。



② 防災協定に基づく BCP 対策

当社は、2022 年 9 月に、本システムの設置場所である太宰府市と「災害時における物資の供給協力に関する協定」※(防災協定)を締結いたしました。今回の取り組みは、この協定に基づく BCP 対策に役立てるため、太陽光パネルに加え蓄電システムを設置いたしました。これにより、災害発生時に夜間でも電源が取れる施設として活用することが可能となります。

### (2) システム概要

- ① 施設名: 九州エリアセンター  
② 住所: 福岡県太宰府市内山字平田 497-5  
③ システム名: 60kWクラス自家消費太陽光発電+蓄電システム  
④ 仕様: 太陽光パネル 340W パネル×198 枚、発電出力 67.32kW  
(内訳) 倉庫全体の自家消費: 162 枚、発電出力 55.08kW  
蓄電システムによる休憩室等 2 室の自家消費: 36 枚、発電出力 12.24 kW

## 3. 今後の取り組み

2024 年には、中部エリアセンターの増設を予定しており、自家発電率は 10%を超えます。

2030 年までには、再生可能エネルギー100%達成を目標として推進してまいります。

※参考: 災害時における物資の供給協力に関する協定

<https://www.koyou.co.jp/news/img/pdf/9f0ee3fa610284969d5c48c00bf9883bd200efe2.pdf>

【本リリースに関するお問い合わせ】

コーユーレンティア株式会社 IR 広報室 TEL:03-6478-9724 koho@koyou.co.jp

以 上